

図書館だより

〒854-0202

諫早市森山町慶師野1950-1

TEL 0957-35-2001

FAX 0957-35-2250

	日	月	火	水	木	金	土
5 月	*	*	*	*	*	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	*	*	*	*	*	*
	日	月	火	水	木	金	土
6 月	*	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	*	*	*	*

諫早市立図書館公式ホームページ

CHECK IT!



出会えたね。とびっきりの1冊に。

2020・第62回 こどもの読書週間 4/23-5/12



お家でゆっくり本を読みましょう

開館時間 10:00~18:00 ■は休館日

~来ぶらりい~

昨年の今頃は元号が平成から令和に改まり、新しい時代の幕開けに日本国中がお祝いムードでいっぱいだったかと記憶しています。さて、今年はどうと……。突然現れ、世界中を恐怖に陥れる新しい感染症ウイルスとの戦いで、いつ終わるとも知れない戦々恐々とした不安な毎日を過ごしています。新しいは新しいでも、天と地ほどの違いです。木々に緑が芽吹き、桜の花の咲き誇るうらかな季節に、自然豊かなこの森山の地に再び勤務できるようになり、また、市民の皆様と日々ふれあう仕事ができると喜んでまいりましたが、外出自粛や入館規制で閑散とした館内を見るにつけ、ここまでとはという驚きと、残念な思いでいっぱいでした。そしてその後遂に、休館という事態にまで至ってしまいました。一心休館期間は終了し、開館はいたしますが、感染症リスクがなくなった訳ではありません。図書館へ来られる際は、どうぞマスク着用や手指の消毒など感染防止対策を十分に取っておいでください。

話が前後しますが、私、この4月1日から佐田副館長の後任としてこの森山図書館に勤務することになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

(新副館長 土井)

◆◇行事の中止についてのお知らせ◆◇

予定しておりました、6月末までのおはなし会等のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

森山図書館では、毎月テーマを決めて、本や視聴覚資料を展示しています。皆さんぜひ、読んでみてください♪

5月の展示

- 一般書・・・『暮らし、を整える
～おこもり時間を有意義に～』
『世界を巡る』
- 児童書・・・『ふしぎな世界へようこそ!』
- ティーンズ・・・『小説を読もう♪』
- 視聴覚資料・・・『カラダを動かそう』

*5月11日時点の展示です。

図書館員のひとりごと...

『きょう出会う空』

まいえ 眞家 泉・著/ジャムハウス

皆さん、空を眺めることは好きですか？夕焼け空や星空など、たくさんの素敵な空がありますよね。本書は、気軽に読める科学の入門書である、ジャムハウスの科学の本“ときめき×サイエンス”シリーズの2巻目です。今回は、空がテーマとなっています。各章が「光」「雲」「水」「風」「激」「夜」の漢字一字で表されており、写真やイラストを使って紹介されています。最初の「光」では、虹や朝焼け・夕焼けなどについて書かれており、空の状態によって見られる景色が変わり、様々な現象が起こっていることがわかります。その他にも、季節の景色の楽しみ方の紹介コーナーや、空が好きな方々から寄せられた素敵な空の写真を集めたコーナーがあります。どれも素敵な写真ばかりで、見ているだけで癒されます。また、防災や減災について紹介されているコーナーもあり、雨や風などによる災害が起こったときに、どんな対策をしたらいいか考えるきっかけとなります。ぜひ、皆さんに読んでいただきたい、おすすめの本です。

(S)



新しく入ったおすすめの本



■一般書

歴史

『サピエンス日本上陸』

海部 陽介 著／講談社

私たちの祖先はなぜ日本へ来たのか。水平線の先にある島の存在を彼らは知っていたのか。世界最大級の海流・黒潮をどうやって越えたのか。現代人が命がけの実験航海を行い、そこから見えてきた「祖先たちの本当の姿」を伝える。

自然・写真集

『ノースウッズ』

大竹 英洋 著／クレヴィス

太古から人と自然の物語が紡がれてきた世界最大級の原生林、ノースウッズ。カナダ初の世界複合遺産「ピマチオウィン・アキ」を含む恵みの大地で、旅をつづける写真家の眼と心に映ったものとは？ 撮影 20 年の集大成。

🍀 『季節をめぐる気功』

(天野 泰司 著／春秋社)

🍀 『親方と神様』

(伊集院 静 著／あすなろ書房)

🍀 『楡の墓』

(浮穴 みみ 著／双葉社)

🍀 『野菜まるごと畑のびん詰め』

(西村 千恵 著／NHK出版)

🍀 『心臓によい運動、悪い運動』

(古川 哲史 著／新潮社)

🍀 『朝 8 分ほったらかし弁当』

(川崎 利栄 著／世界文化社)

🍀 『モリー、100 匹の猫を見つけた保護犬』

(コリン・ブッチャー 著／東京創元社)

医療

『エンド・オブ・ライフ』

佐々 涼子 著／

集英社インターナショナル

多くの患者を看取ってきた看護師の友人が癌になった。「看取りのプロ」の死への向き合い方は、意外なもので…。最期の日々を共に過ごすことで見えて来た「命の閉じ方」とは。在宅での終末医療の現場を描くノンフィクション。

心理学

『夢の正体』

アリス・ロブ 著／早川書房

夢のなかで目覚め、その内容をコントロールできる明晰夢を体験した著者は、その不可思議な世界に魅せられ、夢の科学へと分け入り…。夢はどのように働くのか？ なぜ必要なのか？ 科学と文化の両面から夢と睡眠の秘密に迫る。

■児童書

えほん

『きつとあえる』

かまた のぶこ 著／福音館書店
鎌田 暢子・さく

渡り鳥のマガンの子どもトットと、コハクチョウのクークー。遠い北の国からやってきて、日本で出会ったふたりは、やがて友だちに。季節が変わり、暖かくなると、それぞれ旅立つ時期を迎え…。あたたかな友情のおはなし。

しらべる

『ポリネシアのごはん』

ぎんじょう やすこ ぶん 著／農山漁村文化協会
銀城 康子・文 マルタン フェノ・絵

ポリネシアの家庭で食べられている日常的な食事を、管理栄養士の視点からわかりやすく解説。食事にまつわる習慣や、日本では見られない料理道具などから、文化や自然背景などがわかります。代表的な料理のレシピも紹介。

🍎 『かわいいパリのハンドメイド ミサンガ』

(フロランス・ベロー・著／ほるぷ出版)

🍎 『アリババの猫がきいている』(新藤 悦子・作 佐竹 美保・絵／ポプラ社)

🍎 『かいくんとセラピー犬バディ』(井上 こみち・文／国土社)

🍎 『こまったさんのレシピブック』

(寺村 輝夫・レシピ原案 岡本 颯子・絵／あかね書房)

🍎 『薬剤師になるには』

(井手口 直子・編著／ぺりかん社)

🍎 『すがたをかえる食べもの 4 とうもろこし』

(服部栄養料理研究会・監修／あすなろ書房)

よみもの

『しらゆきちりか ちっちゃいな』

くん くみこ・作 大島 妙子・絵

／PHP研究所

小学校1年生のちりかは学校に行きたくありません。なぜかという、後ろの席にライオンみたいなすすきくんがすわっているからです。ちりかは、ちょっかいばかりだしてくるすすきくんがいやでたまりませんでした…。

ティーンズ

『朔と新』

いとう みく・著／講談社

「伴走者になってもらいたいんだ」事故で視力を失った兄・朔は、走ることをやめた弟・新に告げる。かくして兄と弟は、一本のロープを握り、コースへと踏み出してゆく。ブラインドマラソンは、兄弟の絆をつなぎ止めるのか。